

Architecture & Building

建築

建物

Buildingは
建てる行為
そのものもある

Architecture ... 永遠であるようにする。

Building ... 絶えず建直し、手を加え直さる。

→ 現代の建物は建築化してはいるが、
それでも変化は避けられない。

モダニズムの2つの言葉

① Form ever Follows Function.

リリス・サリバン

② We shape our buildings,
and afterwards our buildings
shape us. リンダ・クリュー

→ この2つは、少しズレている。

✳ First we shape our buildings,
then they shape us,
then we shape them again

— ad infinitum — 無限に

Function reforms form, perpetually.

3つの建物の変化のタイプ

① Commercial Building (商業建築)

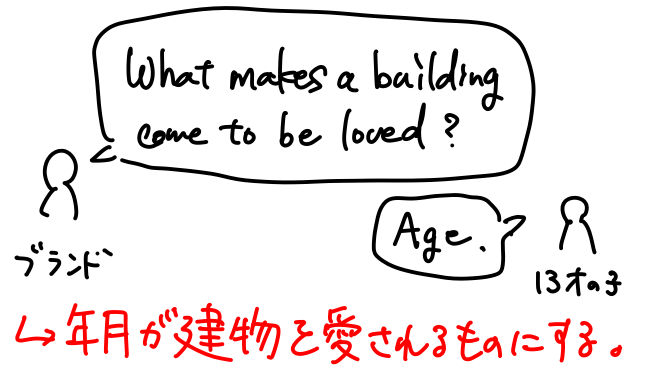
→ 絶えず入れ替わり、変態する。(が断絶はない)

② Domestic Building (住宅)

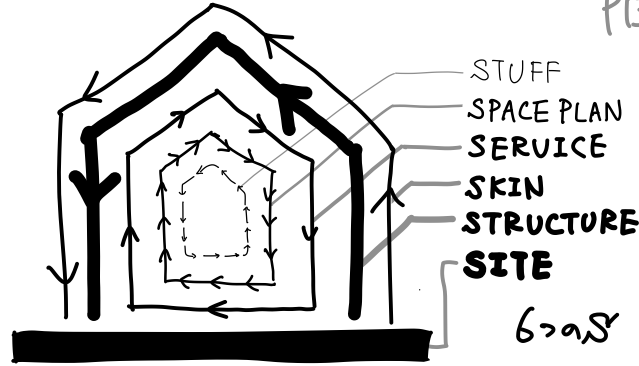
→ 家族の物語に応じて変容し、
親密さの記録を蓄積する。

③ Institutional Building (施設)

→ アイデンティティを保つため、あまり大きくは
変わらうとしない。



SHEARING LAYERS OF CHANGE



層ごとに変化の速さが異なる。

- ① SITE (敷地) ... 永久的
- ② STRUCTURE (構造体) ... 30~200年ほど
- ③ SKIN (外装・ファサード) ... 約20年ほど
- ④ SERVICE (設備) ... 7~15年ほど
- ⑤ SPACE PLAN (部屋割り) ... 約3年ほど
- ⑥ STUFF (もの) ... 日常的に
- ⑦ SOUL (人間) ... 常に絶えず間なく

→ 基本的に、遅いプロセス(レイヤー)が、
早いプロセス(レイヤー)を規定する。

↑ 逆だし!
逆向きに影響がしみ出しもよく

「形の合成に関するノート」 R.C. アレクサンダー
切れ目ない小さなフィードバックループが、
形を調和のとれた適切なものにする。

建物の3つの道

① The Low Road

(中々何としようとも誰も気にしない)

MITで最も愛された建物<20号館>

→ 環境は良くないが、自由にできる。

意匠的・機能的なことと心遣いせず、
責任を問われることも、とがめられることもない。

手を加えていく中で愛着をもち、つく。

また、多くの創造的なプロジェクトが、
こうしたボロ小屋から生まれている。(→シリコンバレー)

② The High Road (誇り高き建物)

高い関心と愛情が注がれ続けた建物

→ 時間の中で徐々に洗練されていく。

様々な複雑な表情をもち、
人格があるかのような魅力を醸成する。

・管理する上での責任の所在が不明瞭
だと、うまくフィードバックループがまわらない。

Those are the basic of what makes
a High Road building acquire its character
— high interest, duration of purpose,
duration of care, time, and a steady
supply of confident dictators.

細かな操作の1つ1つには、関係性が
反映されている。その蓄積として町は、関係性を
映し、生きたものとなる。

→ そのためには、「時間」が不可欠

③ No Road (建築雑誌的建物)

MOST BUILDINGS have neither High Road
nor Low Road virtues. Instead they stenuously
avoid any relationship whatever with time and
what is considered its degradation.

→ I.M. ペイの「メディアラボ」(MIT)

めっちゃ不便で、乗虫通がきかない

→ 建築家による overdesign の併害。

なぜ overdesign になってしまったのか?

① 建築写真と芸術としての建築

→ 新築と新規のリバだけ、ヴィジュアル偏重。

建築家の賞・仕事・キャリアは建築写真に依存している。

→ 新しいこと・映えること > 実際に使い良いいこと

その後のこと、ほ評価されにくい。

→ 変な形は雨漏りしやすい。
拡張性・適合性も低い。

フランク・ロイド・ライトの落水即
Falling Water などは
Rising Mildew (白カビ)

1890年代 先例にこだわらない。機能にしたがった形

1920~30年代 → バウハウスにより美学化される。

単年後 欧米で大量の建物が必要に → 機能主義

→ International Style が確立

1960~70年代 予期されない活動を受容する "loose fit"

→ 商業主義にのみ「お飾り屋」のようになる。

1980年代 ポストモダニズム → 過去の様式のはりあわせ

1990年代 漂うモダニズム ... ism の乱立。

② 分断された設計・施工・管理

→ あらかじめ (クレームのこない)

"完成形" を求められる。

→ その後の
使われ方にも
興味もない。

→ 建物を静止したものと捉えるように。